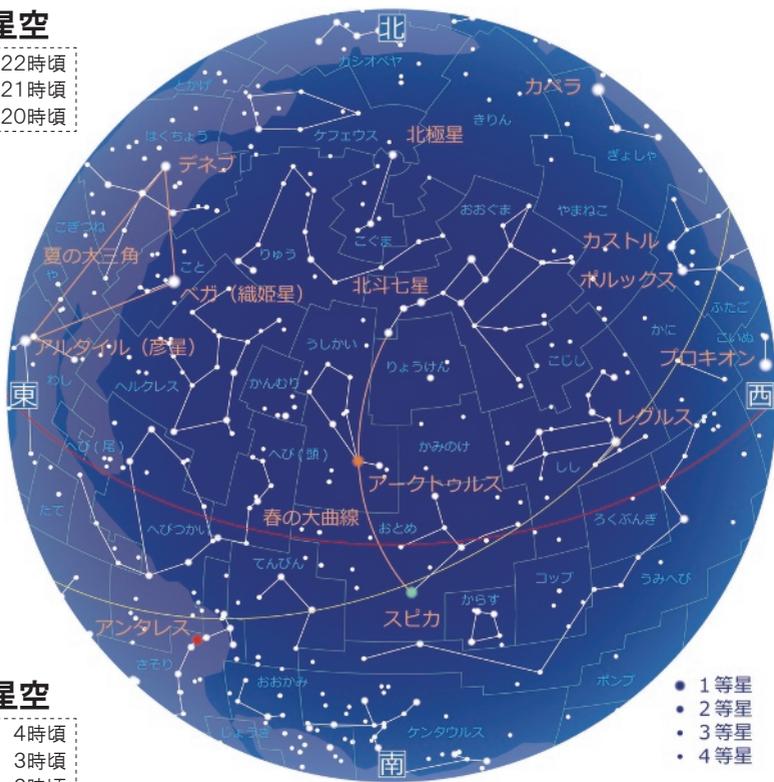


# 星空ガイド 5月16日～6月15日

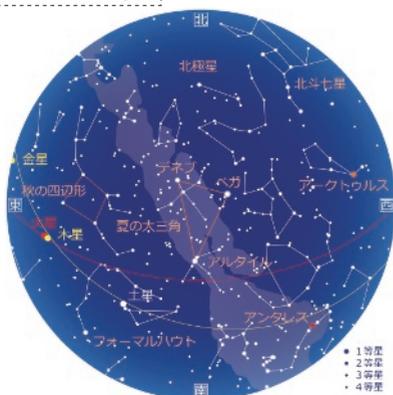
## よいの星空

5月16日22時頃  
6月1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

5月16日 4時頃  
6月1日 3時頃  
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
5	16	月	4:54	18:54	19:10	4:41	15.3
	21	土	4:51	18:58	--:--	9:34	20.3
	26	木	4:48	19:01	2:28	15:00	25.3
6	1	水	4:46	19:05	5:42	20:51	1.6
	6	月	4:44	19:08	10:18	--:--	6.6
	11	土	4:44	19:11	15:31	2:02	11.6
	15	水	4:44	19:12	20:25	4:55	15.6

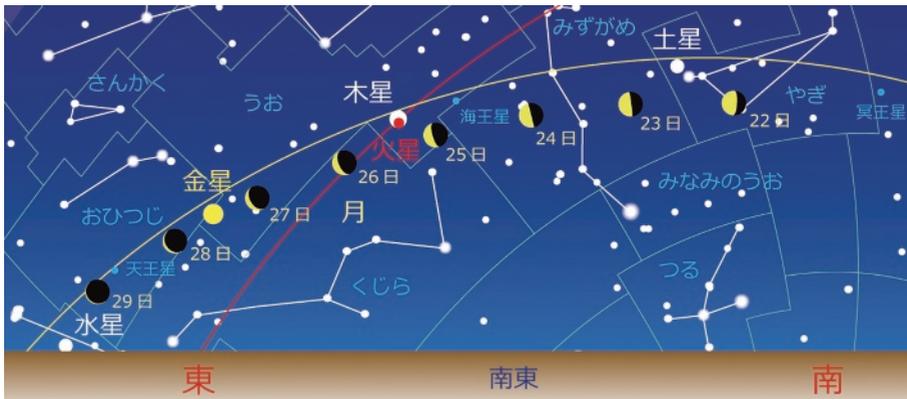
※惑星は2022年6月1日の位置です。

惑星が勢ぞろい

5月下旬から7月初めにかけて、太陽系の8つの惑星が明け方の東から南の空に勢ぞろいします。さらには、冥王星も同じ方法に並んでいます。もっとも現時点では水星の高度は非常に低いため6月下旬までは見えないですし、天王星、海王星、冥王星も望遠鏡がないと見ることはできません。そのため現在観測できるのは、月、金星、火星、木星、土星ということになりますが、それでも多くの惑星を一度に見ることができます。

相対的な惑星の位置も毎日少しずつ変化し、特に5月29～30日には木星と火星が角度にしておよそ0.6度まで接近している様子を見ることができます。

これらの惑星の間を、月が毎日少しずつ移動していきます。5月22～23日は土星、25日は木星と火星、27日は金星のそばに月が並んで見えるようになります。27日の月と金星は、夜明け後もさらに接近していき、鹿児島南部や沖縄ではこの日の午後、金星が月に隠される金星食となります。



5月下旬4時30分の星空(惑星は5月29日の位置)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
5	16	月	○満月(13時)/大西洋を中心に皆既月食(日本では見えない)
	18	水	月が最近(360,298km)
	21	土	小満(太陽黄経60°)
	22	日	水星が内合
	23	月	●下弦(4時)
	25	水	明空に月と木星と火星がならぶ
	27	金	明空に月と金星がならぶ(沖縄などで金星食)
	30	月	●新月(20時)/明空に木星と火星が接近

月	日	曜	主な天文現象など
6	2	木	月が最遠(406,192km)
	4	土	月がプレセペ星団に接近
	6	月	芒種(太陽黄経75°)
	7	火	●上弦(24時)
	11	土	入梅(太陽黄経80°)
	12	日	明空の金星のそばに天王星(観察には望遠鏡必要)
	13	月	月がアンタレスに接近
	14	火	○満月(21時)
	15	水	月が最近(357,432km)

江越 航(科学館学芸員)